



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月6日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	16,443	5.5	1,147	4.6	1,281	5.1	903	9.4
30年3月期第3四半期	15,586	4.8	1,097	20.3	1,219	21.3	825	22.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 461百万円 (△73.8%) 30年3月期第3四半期 1,758百万円 (57.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	203.38	-
30年3月期第3四半期	185.85	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	26,275	16,069	59.1	3,496.64
30年3月期	25,982	15,771	58.8	3,440.08

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,525百万円 30年3月期 15,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	15.00	-	19.00	34.00
31年3月期	-	17.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	2.1	1,446	3.8	1,545	1.5	1,042	1.5	234.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	4,450,000株	30年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	9,961株	30年3月期	9,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	4,440,040株	30年3月期3Q	4,440,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年12月31日）における我が国経済は、4～6月期実質GDPが2四半期ぶりにプラス成長となった後、7～9月期は相次いだ自然災害の影響で大幅なマイナス成長となりました。しかし、10～12月期は災害の影響が一巡して供給制約が解消、挽回生産などでプラス成長に復帰する見通しです。

企業部門が堅調に推移し、7～9月期の売上高は4四半期連続の増加、経常利益は4～6月期に大きく増えた反動で7～9月期は減少したものの依然高水準を維持しています。労働需給の逼迫状況から雇用情勢の改善が続き、良好な雇用・所得環境を背景として、個人消費も緩やかに回復してきました。人手不足に対応するための合理化・省力化、生産性向上を目的とした設備投資も増加基調であり、個人消費、設備投資を二本柱に内需が景気回復を牽引する状況となっています。

輸出は、災害による工場操業停止の影響は脱したものの、スマホ関連需要の一服、米中貿易摩擦の長期化観測、中国経済の減速等を受けて伸びは鈍化し、外需の景気牽引力は低下しました。世界経済の不透明感の高まりは、我が国経済の回復テンポに影響を及ぼしています。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、グループ各社とも概ね順調に推移し、売上高は16,443百万円で前年同期に比して856百万円の増収となりました。損益につきましては、営業利益1,147百万円（前年同期比50百万円の増益）、経常利益1,281百万円（同62百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益903百万円（同77百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第3四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期を1.1%下回りました。米麦袋出荷数量の減少が更に進み、砂糖・甘味、合成樹脂、飼料などの用途も減少しました。一方で、その他食品、化学薬品、その他鉱産物などの用途は増加しました。10～12月期に限れば、セメント、その他食品、化学薬品等用途の増加分が砂糖・甘味、農水産物等用途の減少分をカバーして、前年同期の出荷量を若干上回りました。原材料については、製紙各社が、重包装袋用クラフト原紙についても、夏場以降大幅な値上げを実行したため、業界の損益に大きく影響しました。

当社の売上数量は、10～12月期が前年同期を僅かに上回り、累計では前年同期比△0.8%でした。業界と同様に米麦袋、合成樹脂用途が減少しましたが、化学薬品、砂糖・甘味、底貼袋で注力している製粉用途が増えました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、九州北部地区の米麦袋や一般袋の新規受注がありましたが、減少した分野もあり、全体では前年同期比+1.0%にとどまりました。タイ昭和パックス㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）は、合成樹脂など主力顧客向けがタイ国内、輸出ともに好調を維持し、新規客先の開拓もあって、売上数量は前年同期比+7.8%となりました。山陰製袋工業㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）の売上数量は、7～9月期が米麦袋の当用分の減少などでやや低調でしたが、積極的な受注、生産活動で、累計では前年同期比で4.2%の増加でした。

当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は10,370百万円で、前年同期に対し1.5%の増収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、産業用、農業用ともに前年同期から増加しました。原油価格の上昇を受け、主原料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂は、数度にわたり値上がりしましたが、その後の原油価格ピークアウト観測から、価格は軟化しつつあります。

当社の売上数量は、全体で前年同期比+5.6%となりました。産業用でマスキングフィルム用のHQF、農業用でハウス用のバーナル、サクランボ用などが増加しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は2,727百万円で、前年同期に対して6.0%の増収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品、海外生産品ともに窯業土木品用途、食品用途が前年同期より増加、他の用途は大体減少し、全体でもやや減少した見込みです。海外からの輸入量の全体はやや増加しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年の失注分を取り戻し前年同期比+23.2%の大幅増加でした。大型コンテナバッグ「バルコン」は前年同期から数量を減らしましたが、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は累計で増加に転じ、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」は順調に数量を伸ばしています。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は1,632百万円で、前年同期に対して22.3%の増収でした。

○不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありません。当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期から横ばいの198百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は26,275百万円で、前連結会計年度末に比べて292百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金778百万円、受取手形及び売掛金125百万円、電子記録債権114百万円および商品及び製品153百万円です。主な減少要因は有形固定資産156百万円および投資有価証券741百万円です。

(負債)

負債合計は10,206百万円で、前連結会計年度末に比べて4百万円減少しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金599百万円、電子記録債務357百万円およびその他の流動負債122百万円です。主な減少要因は短期借入金603百万円、未払法人税等115百万円、賞与引当金161百万円および繰延税金負債223百万円です。

(純資産)

純資産合計は16,069百万円で、前連結会計年度末に比べて297百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益903百万円、剰余金の配当支払159百万円による利益剰余金の増加743百万円およびその他有価証券評価差額金の減少523百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べて増収増益の結果となりました。我が国経済は緩やかな回復基調が続いていますが、世界経済の伸びの鈍化を受けて、回復のテンポは鈍りつつあります。景気の変動とクラフト原紙の値上がりは、今後の当社グループの業績に大きく影響してきます。

当連結会計年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）通期の業績見通しについては、当初の予想（平成30年5月10日発表）を変更せず、連結売上高21,200百万円、連結経常利益1,545百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,042百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,114,368	6,893,288
受取手形及び売掛金	6,516,095	6,641,924
電子記録債権	383,507	498,243
商品及び製品	1,091,101	1,244,529
仕掛品	120,662	165,753
原材料及び貯蔵品	1,039,563	1,086,474
その他	257,169	195,096
貸倒引当金	△10,872	△11,318
流動資産合計	15,511,596	16,713,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,696,978	7,777,510
減価償却累計額	△5,560,098	△5,692,033
建物及び構築物 (純額)	2,136,880	2,085,476
機械装置及び運搬具	9,864,002	9,982,264
減価償却累計額	△8,470,978	△8,694,668
機械装置及び運搬具 (純額)	1,393,024	1,287,596
土地	882,839	885,112
リース資産	32,230	-
減価償却累計額	△26,470	-
リース資産 (純額)	5,759	-
建設仮勘定	8,420	21,317
その他	811,587	825,093
減価償却累計額	△719,214	△741,324
その他 (純額)	92,373	83,768
有形固定資産合計	4,519,297	4,363,271
無形固定資産		
ソフトウェア	26,274	13,435
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	35,504	22,666
投資その他の資産		
投資有価証券	5,204,558	4,463,172
退職給付に係る資産	557,767	564,385
繰延税金資産	38,774	43,999
その他	124,453	112,948
貸倒引当金	△9,110	△9,110
投資その他の資産合計	5,916,443	5,175,394
固定資産合計	10,471,245	9,561,332
資産合計	25,982,842	26,275,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,518,684	4,118,526
電子記録債務	1,545,725	1,902,813
短期借入金	2,142,000	1,539,000
未払法人税等	250,324	134,687
賞与引当金	373,887	212,841
役員賞与引当金	19,160	14,370
設備関係支払手形	13,430	5,071
営業外電子記録債務	30,294	37,196
その他	695,742	818,550
流動負債合計	8,589,248	8,783,057
固定負債		
長期借入金	1,000	-
繰延税金負債	1,112,863	889,258
役員退職慰労引当金	86,853	100,209
環境対策引当金	13,028	5,119
退職給付に係る負債	224,802	247,735
資産除去債務	6,995	6,995
長期預り保証金	176,292	173,897
固定負債合計	1,621,835	1,423,215
負債合計	10,211,084	10,206,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	11,767,908	12,511,099
自己株式	△9,437	△9,441
株主資本合計	12,688,817	13,432,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,246,889	1,723,736
為替換算調整勘定	187,982	218,229
退職給付に係る調整累計額	150,395	151,252
その他の包括利益累計額合計	2,585,267	2,093,218
非支配株主持分	497,672	543,827
純資産合計	15,771,757	16,069,051
負債純資産合計	25,982,842	26,275,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	15,586,792	16,443,343
売上原価	12,541,254	13,300,758
売上総利益	3,045,538	3,142,584
販売費及び一般管理費	1,948,403	1,995,208
営業利益	1,097,135	1,147,376
営業外収益		
受取利息	2,127	2,967
受取配当金	107,486	119,425
為替差益	1,347	10,897
その他	27,242	13,911
営業外収益合計	138,204	147,202
営業外費用		
支払利息	13,217	10,914
その他	2,401	1,862
営業外費用合計	15,618	12,777
経常利益	1,219,720	1,281,801
特別利益		
固定資産売却益	-	800
特別利益合計	-	800
特別損失		
固定資産除却損	562	346
環境対策引当金繰入額	17,942	-
環境対策費	6,900	-
特別損失合計	25,404	346
税金等調整前四半期純利益	1,194,316	1,282,254
法人税、住民税及び事業税	326,249	330,590
法人税等調整額	1,339	1,271
法人税等合計	327,588	331,862
四半期純利益	866,727	950,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,547	47,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	825,180	903,032

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	866,727	950,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	766,277	△523,597
為替換算調整勘定	81,472	33,608
退職給付に係る調整額	43,664	856
その他の包括利益合計	891,415	△489,132
四半期包括利益	1,758,143	461,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,707,404	410,983
非支配株主に係る四半期包括利益	50,738	50,275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,212,991	2,572,942	1,334,188	197,561	14,317,684	1,269,108	15,586,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,212,991	2,572,942	1,334,188	197,561	14,317,684	1,269,108	15,586,792
セグメント利益	1,029,983	120,260	18,121	114,138	1,282,504	97,114	1,379,618

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,282,504
「その他」の区分の利益	97,114
全社費用(注)	△282,483
四半期連結損益計算書の営業利益	1,097,135

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,370,296	2,727,979	1,632,102	198,389	14,928,767	1,514,576	16,443,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,370,296	2,727,979	1,632,102	198,389	14,928,767	1,514,576	16,443,343
セグメント利益	1,041,781	124,775	24,758	116,765	1,308,079	101,361	1,409,441

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,308,079
「その他」の区分の利益	101,361
全社費用(注)	△262,065
四半期連結損益計算書の営業利益	1,147,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。